

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	30-13
PDCA	主要事業名		新学校給食センター建設事業		部課名		教育部学校教育課 (学校給食センター)			担当	鳥居
								内線			28-2461
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育										目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 7 年度 全体事業費等： 4,516,516 千円										
	会計		一般会計			歳出科目： 09.06.03.03.50					
	事業概要等		事業概要： 現施設の老朽化に伴い、最新の衛生管理基準に対応した新学校給食センターを建設する。令和4年度は、前年度に引き続き実施設計を行い、建物等の図面を作成する。また、建設工事で支障となる樹木の伐採等を行い、敷地を5mまで嵩上げる敷地造成工事を実施する。								
			事業目的： 老朽化した現施設を建て替えることで、より安心安全な学校給食を提供する。								
			事業内容： 新学校給食センターを建設する。令和4年度は実施設計、樹木伐採、敷地造成工事を行う。								
			問題点・課題等： 現施設は老朽化が著しく、最新の衛生管理基準に対応できていない部分があるため、新設等： 学校給食センターの建設が急務である。								
	予算額		主要事業とする理由								
	106,764 千円		最新の衛生管理基準に対応した新学校給食センターの供用開始により、作業環境が改善し、より安心安全な給食の提供が可能となるため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	106,764 千円		新学校給食センターを建設・稼働することにより、今まで以上に安心安全な給食の提供が可能となる。								
	国費										
	0 千円		目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
県費		事業進捗率 (実施設計委託)		実績値	—	100.0	—	%			
				目標値	—	100.0	100.0	%			
その他				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							

D 実績値	決算額	得られた成果								主要施策の成果報告書で活用
	80,772 千円	昨年度から実施している実施設計を行ったことにより、詳細な建物等の図面の作成や工事費の算定し、来年度の入札で必要とする設計図書を作成することができた。								
	成果指標				令和4年度		単位			
	事業進捗率 (実施設計委託)				実績値		100.0	%		
					目標値		100.0	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 昨年度に引き続き実施設計を実施し、工事の入札で必要とされる工事の概算費用、建物等の図面を作成した。また、今年度の建設工事については、建設工事で支障となる樹木の伐採等を行い、敷地を5mまで嵩上げる敷地造成工事を実施した。								
	今後の事業の方向性	拡充推進 新学校給食センター建設工事に向け、実施設計を実施することで、建築工事、電気設備、機械設備など建設工事が発注できるように入札の準備を行う。令和6年9月の供用開始ができるよう、進捗を図っていく。								
A 課題後の決方向性	観点別評価	必要性		有効性			効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献			大きい	⑦コスト削減余地		ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地			ある	地		※対象の変更
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無			ない	⑧受益者負担適正化余地		—